

2025 年度

C 級審判審査 筆記試験問題

B

九州ハンドボール協会審判委員会

1. スローオフエリアについて、正しい記述はどれか。
 - (a) スローオフエリアは、直径 3 m の円からなる。
 - (b) スローオフエリアは、直径 4 m の円からなる。
 - (c) スローオフエリアを設置する際には、プレーイングエリアの床と異なる色の スローオフエリアを設置することができる。
 - (d) スローオフエリアは、円形の線で描くことができる。
 - (e) スローオフエリアの設置は、全てのハンドボールの大会で、必須である。

2. 7 m スローコンテストの参加資格について、正しい記述はどれか。
 - (a) 記録用紙に記載のある、すべてのプレーヤーが参加できる
 - (b) 失格となったプレーヤーは参加できない
 - (c) 延長戦が終了したとき、2 分間退場中のプレーヤーは参加できない
 - (d) レフェリーの許可を得たプレーヤーが参加できる

3. 白チームの攻撃中、白チームのチーム役員 A がチームタイムアウトを請求するためにジャッジズテーブルに行き、タイムキーパーの目の前（机の上）にグリーンカードを置いた。ちょうどそのときに白チームの 4 番がシュートを打ち、得点を決めた。タイムキーパーは、ボールが黒チームのゴールラインを通過した直後に、チームタイムアウトの笛を鳴らした。
 - (a) 白チームの得点
 - (b) 白チームがチームタイムアウトを請求したため、得点は認められない
 - (c) 白チームのチームタイムアウト
 - (d) 白チームはもはやボールを所持しておらず、このチームタイムアウトは認められない
 - (e) 白チームにグリーンカードを返さなければならない
 - (f) 黒チームのスローオフ

4. 成年・高校生の男子用のボールはどれか。
 - (a) 外周 57 cm、重さ 450 g
 - (b) 外周 58 cm、重さ 400 g
 - (c) 外周 59 cm、重さ 425 g
 - (d) 外周 60 cm、重さ 500 g

5. 白チームのチーム役員 C は、抗議によりすでに警告となっていた。その後、スポーツマンシップに反する態度ではなかったものの、白チームのチーム役員 B がレフェリーの許可を得ずにコート内に入場した。
 - (a) 白チームのチーム役員 B を、警告とする
 - (b) 白チームのチーム役員 B を 2 分間退場とし、チーム役員 B は 2 分間、交代地域から去らなければならない
 - (c) （レフェリーはレッドカードを示し）白チームのチーム役員 B を失格とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす
 - (d) 白チームのチーム役員 B を 2 分間退場とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす。チーム役員 B は、交代地域に留まることができる

6. 前半の 29 分 00 秒に、白チームの 5 番は 2 分間退場となった。休憩時間の後、コートレフェリーは笛を吹いて後半を開始させた。その 3 秒後、タイムキーパーが笛を吹いて「白チームはコート上にプレーヤーが 7 名いる」と伝えた。
- (a) 白チームのプレーヤー 1 名はコートから去らなければならないが、罰則は付加されない
 - (b) 白チームのプレーヤーをさらにもう 1 名、2 分間退場とする
 - (c) 白チームは 57 秒間 2 名減らし、その後、1 分 3 秒間 1 名減らして競技する
7. 競技開始 1 分後、黒チームの 3 番と白チームの 6 番との攻防で、黒チームの 3 番は負傷し倒れた。レフェリーは白チームの 6 番に対し、口頭で注意をした。黒チームの 3 番はレフェリーに治療を求め、コート上での治療を受けた後、競技可能となった。
- (a) 黒チームの 3 番は、そのまま競技を続けることができる
 - (b) 黒チームの 3 番は、速やかにコートから出なければならない、白チームが 3 回の攻撃を終えた後、コートに戻るができる
8. 黒チームのゴールキーパー 12 番は、白チーム 7 番からのロングパスをインターセプトするため、ゴールエリア内でジャンプした。黒チーム 12 番は、空中でボールをキャッチしそのまま着地したが、片足はゴールエリア内、他方の足はプレーイングエリアであった。この位置から、黒チーム 3 番へボールを投げた。
- (a) 白チームの 7 m スロー
 - (b) そのまま競技を続行
 - (c) 白チームのフリースロー
 - (d) 位置を正し、笛の合図の後にゴールキーパー スロー
9. 黒チームの得点後、引き続き白チーム 10 番がスローオフの位置についた。白チーム 10 番は、ボールを受け取る用意ができていない味方のプレーヤーを見つけることができず、ゴールエリア内にいる白チームのゴールキーパー 12 番にボールを投げた。驚いた 12 番はボールをキャッチし、白チーム 9 番に投げた。
- (a) そのまま競技を続行
 - (b) 黒チームの 7 m スロー
 - (c) 黒チームのフリースロー
 - (d) 位置を正し、再度スローオフ
10. 空中でサイドラインの方へと向かっているボールを、白チーム 3 番は、サイドラインから出る前にキャッチし白チーム 7 番にパスをしたが、その際片足がサイドラインの外に出た。白チーム 7 番はそのボールを受け取り、得点を決めた。
- (a) 相手チームのスローイン
 - (b) 相手チームのフリースロー
 - (c) 得点
 - (d) 白チームの 3 番を、2 分間退場

11. 記録用紙に記載されていない黒チーム 8 番は遅れて到着し、ロッカールームから直接コートに走り込んだ。そして、ジャンプシュート中の白チーム 6 番を押して身体のコントロールを失わせ、明らかな得点チャンスを妨害した。
- (a) 白チームに 7 m スロー
 - (b) 白チームにフリースロー
 - (c) 黒チーム 8 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカード）
 - (d) 黒チーム 8 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）
 - (e) 黒チームのチーム責任者に対して、段階的罰則を適用
12. 白チーム 6 番は黒チーム 3 番に押された後、これ見よがしに黒チーム 3 番の目の前で床に唾を吐いた。白チーム 6 番に適用される罰則はどれか。
- (a) 段階的罰則
 - (b) 即座に 2 分間退場
 - (c) 報告書を伴わない失格（レッドカードを示す）
 - (d) 報告書を伴う失格（レッドカードとブルーカードを示す）
13. 黒チームのウィングプレイヤー 3 番は、明らかな得点チャンスを得て、シュートを打った。ボールは白チームのゴールキーパー 1 番の側頭部をかすめ、方向を変えることなくゴールに入った。レフェリーの正しい判定はどれか。
- (a) 黒チーム 3 番を、即座に 2 分間退場
 - (b) 白チームのゴールキーパー 1 番に、段階的罰則を適用
 - (c) 得点
 - (d) 白チームのフリースロー
14. 黒チームのゴールキーパー 1 番がゴールのかなり手前にいたため、白チームの 11 番はループシュートを打った。ボールがゴールラインを通過する前に、ゴール後方の観客席最前列に座っていた黒チームのマネージャー（記録用紙に記載されていない）がボールを押し戻した。
- (a) 白チームの 7 m スロー
 - (b) 白チームの得点
 - (c) 黒チームのマネージャーを、報告書を伴う失格とする（レフェリーはレッドカードとブルーカードを示す）
 - (d) 記録用紙にその旨を特記
15. （スローオフエリアを採用するコート）白チームの得点後、黒チーム 9 番は素早くスローオフを実施しようと、スローオフエリア内に正しく位置を取っている。レフェリーによるスローオフの笛の後、黒チーム 9 番は、スローオフエリアの中でボールを持ったまま 6 歩動き、笛の合図から 3 秒以内に、白チームの無人のゴールへとボールを投げ入れた。レフェリーの正しい判定はどれか。
- (a) 黒チームの得点
 - (b) 白チームのフリースロー
 - (c) 誤りを正し、笛の合図の後に新たなスローオフを実施

16. 黒チームの 4 番は片足をサイドライン上に、もう片方の足をプレーイングエリア内に置いて立っていた。この状態で黒チームの 4 番はスローインを行い、直接シュートを決めた。
- (a) 黒チームの得点
 - (b) 再開の笛の合図の後に、黒チームのスローインを再度実施
 - (c) 相手チームのフリースロー
 - (d) 相手チームのゴールキーパーズスロー
17. 白チームのゴールキーパー 12 番がゴールキーパーズスローを実施する際、ボールを手から落として足に当ててしまった。ボールはそのまま、ゴールエリアラインを越えてプレーイングエリアに出た。白チーム 12 番は追いかけてボールを拾い上げ、ゴールキーパーズスローを再度実施するためゴールエリアに戻った。
- (a) 相手チームの 7 m スロー
 - (b) 相手チームのフリースロー
 - (c) タイムアウト
 - (d) (スローを正しくさせるため) 笛の合図の後に、ゴールキーパーズスローを実施
18. 白チームにフリースローが判定された。ボールを持っていた黒チームの 6 番は、フリースローが行われるべき位置から 4 m 離れたところまでボールを運んだ。
- (a) 黒チームの 6 番を、警告
 - (b) 黒チームの 6 番を、2 分間退場
 - (c) 黒チームの 6 番を、失格 (レッドカードを示す)
 - (d) 違反の起こった位置から、白チームのフリースロー
 - (e) 現在、ボールがある位置から、白チームのフリースロー
19. 7 m スローの実施に関する正しい記述はどれか。
- (a) スローを行うプレーヤーは、7 m ラインの後方 1 m 以内に立つことが許される
 - (b) 防御側チームがゴールキーパーを交代する場合、レフェリーはタイムアウトを取らなければならない
 - (c) ゴールキーパーが繰り返しゴールキーパーラインを踏み越えた場合、段階的罰則を適用する
 - (d) 防御側プレーヤーは、スローを行うプレーヤーから 3 m 以上離れなければならない
20. 黒チームの 4 番は、正しい位置についてスローインを行おうとしていた。しかし、パスをする味方のプレーヤーが見つからなかったため、黒チームの 4 番は、サイドラインの内側でボールを一度はずませた。
- (a) 笛の合図なしに、相手チームのフリースロー
 - (b) 笛の合図の後に、相手チームのスローイン
 - (c) 笛の合図の後に、再度、黒チームのスローイン
 - (d) 笛の合図の後に、黒チームのフリースロー
21. 前後半の間の休憩時間中、レフェリーが控室に戻る途中で、黒チーム 7 番から侮辱された。
- (a) 黒チーム 7 番を、報告書を伴わない失格とする (レッドカード)
 - (b) 黒チーム 7 番を、2 分間退場とする
 - (c) 黒チームは後半の開始時に、コート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす
 - (d) 黒チーム 7 番を、報告書を伴う失格とする (レッドカードとブルーカード)

22. 前半に警告を受けていた白チーム 11 番は、休憩時間中にスポーツマンシップに反する行為をした。白チームは、前半終了時に退場者はいなかった。
- (a) 白チーム 11 番を、警告とする
 - (b) 白チーム 11 番を、2 分間退場とする
 - (c) 白チーム 11 番を、失格とする
 - (d) 白チームは後半の開始時に、コート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす
 - (e) 白チームはコート上のプレーヤーを減らさずに、後半の競技を開始する
23. 競技時間がすでに終了しているにもかかわらず、公示時計の自動終了合図が作動しなかった。タイムキーパーはトラブルに気づいておらず、この事態に反応していなかった。この場合、誰が競技終了の合図をするか。
- (a) スコアキーパーのみ
 - (b) コートレフェリーのみ
 - (c) TO のみ
 - (d) どちらか一方のレフェリーのみ
 - (e) タイムキーパーのみ
 - (f) タイムキーパー、TO、レフェリーのどちらか
24. 白チームの 5 番が明らかな得点チャンスを得たちょうどそのとき、白チームのチーム役員 A がタイムキーパーを侮辱した。白チームの 5 番がシュートを打とうとした瞬間に、タイムキーパーは笛を吹いた。このチーム役員 A の行為は、タイムキーパーしか気づいていなかった。
- (a) 相手チームのフリースロー
 - (b) 白チームのチーム役員 A を、警告
 - (c) 白チームのフリースロー
 - (d) 白チームの 7 m スロー
 - (e) 報告書を作成
25. 白チームのチーム役員 A はベンチにいるとき、すでに警告となっていた。その後、白チームのチーム役員 A は交代地域を離れ観客席に移動し、そこからレフェリーの判定に抗議し続けた。
- (a) 何もできない
 - (b) 白チームのチーム役員 A を、2 分間退場
 - (c) 白チームのチーム役員 A を、失格とする（レッドカードを示す）
 - (d) 白チームのチーム役員 A を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルー カードを示す）
 - (e) 白チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 1 名減らす